

一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

地方分権のもとでの都市計画行政・制度の見直しについて



柏村忠志 議員

質問 地方分権、地方自治の下で、現在の都市計画で対応できない課題等について、どのような基本的な考え方で都市計画行政・制度の見直しをいつ頃までにとどのような方法で行うのか見解を伺う。

都市整備部長 平成18年にまちづくり三法の改正があり、これまでの人口増を前提とした都市づくりから、土浦市の場合、既存市街地の再構築により都



市構造の再編に取り組む必要がある。他の都市との競争という視点もあって、土浦市の独自性を出しながら、環境負荷の軽減、防災の視点、バリアフリー化、良好な景観保全と形成、歩いて暮らせるまちづくりといった視点を踏まえながら、今年度と来年度で都市計画マスタープランの見直しを行う。

現在、土浦と旧新治村と2つの計画が存在する状況になっているので、これらを一本化することも含めて、新たな都市計画マスタープランの中で、現在のいろいろな課題に対応した本市のまちづくりの指針となるものを作りたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)

- ・超高齢社会等のもとでの市庁舎建設のあり方について
- ・東京電力の強引な電気料金値上げとごみ発電について
- ・社会構造変化のもとで都市計画行政の見直しについて

公衆無線LANの設置について



平石勝司 議員

質問 本紙のイメージアップ、さらには情報発信に活用できることで、市民の利便性の向上、また災害時においては通信手段を確保する対策として、公共施設への公衆無線LANの設置について伺う。

市長 公衆無線LANを利用する際には、利用者情報のセキュリティの問題、施設内のスペース等の問題、整備費用に対する効果等の留意点があり、市の施設利用者の無線LANサービスに対する要望を見極めていく必要がある。

今後、新たな施設計画を行う際には、先に挙げた課題への対応や活用策について、他の市の事例等を参考に調査研究を進めてまいりたい。

総務部長 避難所である小・中学校、病院、JR各駅等の施設には、災害時でも繋がりやすいMCA無線を配備し、被災状況の把握や情報交換がスムーズ

ズに行える体制となっている。避難住民の収容施設は体育館を想定しており、公衆無線LANを整備した場合、平常時の利用の方法等に課題があることから、先進自治体等の整備方法、運営方法等について調査研究してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- ・公共施設の現状認識と今後について
- ・上天津地区の振興について

朝日トンネル開通後の対策について



竹内 裕 議員

質問 朝日トンネルの開通にあたり、リニューアルする小町の館を、どのように観光振興につなげるのか。また、花を中心とした滞在できる場所を作り、森の植物園との連携による集客について伺う。

産業部長 小町の館本館改修及び体験館の新築整備は、小町の里を訪れる方々のビジターセンターとしての機能強化を図るための改修や休憩施

設、地域資源を活用した体験活動を行う体験館、かまどを備えた半屋外施設を整備していく。体験館では自然観察会や農業体験等の地域資源を活用した体験活動を行い、地元の方々と訪れた方々との交流を図っていきたいと考えている。

筑波山ろく原風景をとどめる小町の里については、地元理解と協力の下、今後10年、20年後の地域の在り方、あるいは農村の在り方を展望した観光振興を進めることが肝要と考えている。

花をメインにした公園・植物園の機能を持たせてはとの提案については、小町の施設整備を進める上で、小町ゆかりの花や里の魅力を引き出す景観作りの中で検討してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- ・土浦駅東口観光物産店「きさら館」について
- ・空き家条例制定の検討の進捗状況について
- ・西部地区の現況と今後の考え方について